

## PTA 主催 オーストラリア研修 報告

7月29日（土）～8月7日（月）の日程で、夏休みのオーストラリア研修が行われました。参加した生徒たちは、ホームステイをしながら、ブリスベンにある Clairvaux Mackillop College の生徒と交流をしました。また、フィールドワークではゴールドコーストの様々な場所を訪れ、SDGs に関する学びを深めました。

7月31日のフィールドワークでは、ゴールドコーストのサーファーズ・パラダイス、バーレイ・ヘッズ、トロピカル・フルーツ・ワールドを訪れました。サーファーズ・パラダイスのビーチでアクティビティをしたり、バーレイ・ヘッズでは国立公園になっている遊歩道を歩き、珊瑚礁のある海を眺めたりしました。現地のコーディネーターから、気候変動によって珊瑚礁が失われつつあるという説明を聞きました。トロピカル・フルーツ・ワールドではトラクターが牽引する車両に乗って園内を見学して回りました。職員の方から、「生物多様性が守られているからこそ、フルーツが育つのだ」という話を聞きました。



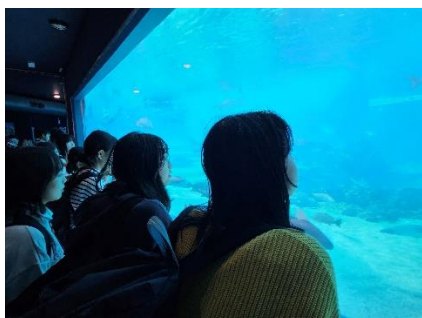
8月1～2日は Clairvaux Mackillop College でバディと一緒に授業に参加しました。日本語の授業にも参加させてもらい、自己紹介と他己紹介のアクティビティや、箸の使い方の練習、自分の将来について話すといった活動を行いました。現地校の生徒は日本語で、名東の生徒は英語でスピーチを行い、とても有意義な時間を過ごすことができました。8月2日の午後には、名東の生徒が現地校の生徒に、日本の学校生活について紹介する機会も持てました。



8月3日には、現地のコーディネーターによる英語とSDGsに関する授業が行われました。オージー・イングリッシュについて学んだり、7月31日のフィールドワークで見聞きしたことを元に、珊瑚礁の減少、気候変動、生物多様性などのサステナビリティに関する問題についてさらに深く学んだりすることができました。また、環境教育と環境マネジメントを専門とする Dr. Nicole Garofano によるプレゼンテーションが行われ、生徒たちは海洋プラスチックの問題について自分たちにできることを考えました。



8月4日はゴールドコーストのシーワールドにフィールドワークに行き、グリフィス大学とシーワールドが協働で研究をしているクラゲの研究室を見ることができました。また、サメやイルカなどに関する解説を聞くことで、海洋生物の生態について理解を深めることができました。



8月5日には、生徒たちは一日ホストファミリーと休日を過ごしました。滞在する家庭によって何をするかは異なりますが、ショッピングに行ったり、バーベキューをしたりなど、ホストファミリーとの交流を楽しみました。



研修全体を通して、生徒たちは、文化の違いを乗り越えてコミュニケーションをとるための心構えを身につけました。また、SDGsを含む多様な視点から、社会的課題を考察することができました。たった10日間の研修で何かが劇的に変わるわけではありませんが、これからの自身の成長にとって重要なことをたくさん学んだはずで